

若桜町・八頭町における地域公共交通活性化・再生総合事業<鉄道関係>  
(若桜谷公共交通活性化協議会)

事業期間  
21~23年度

若桜町・八頭町が鉄道施設を保有して鉄道事業者となり、若桜鉄道が運行する、いわゆる「公有民営」方式による再構築事業の一環として地域が利用促進策等に積極的に取り組み、地域の足として安定した運行の維持を図る。

【若桜谷公共交通活性化協議会】

若桜町、八頭町、鳥取県、鳥取市、若桜鉄道(株)、JR西日本、バス事業者、住民代表、若桜鉄道沿線活性化協議会、有識者、国(中国地方整備局鳥取河川国道事務所、中国運輸局)

事業の概要(22年度)

① 駅施設の復元等整備事業 3,700千円

若桜鉄道施設の国の登録有形文化財指定に伴い、昭和初期の建造による老朽化が顕著な駅施設をレトロな景観に維持するため、駅施設の修繕や木製ベンチの設置を行い、歴史的景観の復元を行う。(船岡駅ほか2駅)



(隼駅)



(船岡駅)



(安部駅)

② 広報媒体を介したキャンペーン等の実施 582千円

若桜鉄道のPR用パンフレット(登録有形文化財各施設解説等)の作成、通勤や高校生に対する利用促進等に向けた新聞記事の掲載



③ 鉄道イベント 376千円

開業80周年を記念した鉄道イベントの開催に併せた、チラシ、車両ヘッドマーク、スタンプの作成



スタンプ



ヘッドマーク



ヘッドマーク

## 22年度 導入 への プロセス

平成22年1月19日に開催した「第5回若桜谷公共交通活性化協議会」において平成21年度事業評価と平成22年度の事業について協議

### 平成22年度の目標

- ・生活交通としての地域の好況交通の確保
- ・若桜鉄道を活用した地域の活性化
- ・乗車運動・住民運動の推進
- ・マイカーからのシフト対策 等

### 平成22年度の事業

- ・地域団体との連携による環境美化やイベントの実施
- ・観光商品の開発やイベントの開催等
- ・若桜鉄道応援団会員の募集等
- ・町職員による通勤定期券購入やノーマイカーの推進等
- ・住民による「マイレール運動」のより一層の推進
- ・パーク&ライド、通勤利用の推奨
- ・鉄道施設の維持管理と設備の更新
- ・バス利用者の利便性向上の確保 等

### 利用者(普通旅客)の大幅な増加

H22年度の若桜鉄道の利用者数は、対前年度比101%(普通旅客が120%、通勤定期が109%、通学定期が93%)と沿線人口の減少、少子化、さらには景気低迷が続く中、普通旅客や通勤旅客において伸びており、各種イベントの実施や若桜鉄道のPR、さらには新聞による鉄道利用の呼びかけ等を行ったことが増加の要因

平成22年度輸送人員 普通旅客 125千人(20%アップ) 通勤定期 41千人(9%アップ)

### マイレール意識の高揚

沿線地域では「鉄道施設の保存は若桜鉄道への誘客と地域の活性化において不可欠」という意識が高揚。駅の修繕を契機に、各駅を核とした地域住民主体の団体も結成され、鉄道を活用したイベントや取り組み等が積極的に展開されるなど、マイレール意識の高揚が進んでいる。

(沿線地域の取組み例)

- ◇若桜鉄道隼駅を守る会:「8/8隼駅まつりの開催」「レトロ機関車の設置」「駅周辺の美化活動」等
- ◇八頭町商工会:「ふるさとかかし列車の運行」によるふるさと鉄道の構築 等
- ◇若桜鉄道因幡船岡駅の活性化を考える会:「駅周辺の清掃」「若桜鉄道の乗車運動」「各種イベント協力」等
- ◇「若桜鉄道沿線活性化協議会」/観光客誘致、沿線の整備・景観保全、情報発信 等

## 22年度 事業の 効果

レトロな駅や車両等の鉄道施設を観光資源とした観光客の誘客により、鉄道と地域のさらなる活性化を図る。

### ②鉄道イベントの開催

桜祭りなど鉄道イベントの開催により観光客の誘客を図る。  
(トロッコ列車の運行がスムーズに行える施設の整備)

### ①駅施設の復元等整備事業

地域の貴重な鉄道施設である駅の歴史的景観の復元とイベント等とパッケージで観光客の誘客を図る。



## 次年度 以降